

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp



平成30年度みどり市公民館大会

▲「みどり市の歌」斉唱で公民館大会開幕

公民館大会は、「公民館や公民館活動について、利用者、住民が意見

者、住民が意見を述べ、公民館大会は、公民館の新しい役割を主眼として、約1時間40分熱く語っていただきました。

講師の東京大学大学院教育学研究科の牧野篤教授は、「学び」がつくる新しい社会と公民館の新しい役割を主眼として、約1時間40分熱く語っていただきました。

3月2日(土)、笠懸公民館交流ホールにおいて「平成30年度みどり市公民館大会」が開催され、約100名が参加しました。主催は、みどり市公民館大会実行委

員会、笠懸公民館、大間々公民館、東公民館です。オープニングは、笠懸公民館利用サークル(笠懸野合唱団、コールコスモス、れもんばらむ)による「みどり市の歌」斉唱。

を話し合うことによって、公民館のあり方、自分たちの活動のあり方を考え、改善していく」という多くの声

により、昭和62年に笠懸村公民館大会として初めて開催されました。その後、中断はあったものの、平成27年まで笠懸公民館大会として開催されました。みどり市公民館大会としては、平成28年度より笠懸、大間々、東の3公民館合同の実行委員会形式で行われるようになりました。

今回は、「変わる地域の中でこれからの公民館の役割を考える」をメインテーマに進められました。

今、地域社会が大きく変わり、人と人との繋がりが弱まる中、公民館もその活動に大きな変化が生じています。「地域と共に歩む」

ことを第一の運営方針に掲げるみどり市公民館には、何が求められているのか、変わる地域の中で、これらの公民館の役割、そして可能性を講師に語っていただきます。

講師は「今の公民館は、都市型公民館が花形で、住民にさまざまな講座を提供し、そこからさまざまな文化、教養等のサークルができて、住民が『学び』ことを支援するための施設である。しかし、過度に公民館がカルチャー化してしまつと民間委託にとつて代わられることも十分考えられる。そこで公民館は『社会教育』

公民館の役割とは

みどり市公民館大会



▲ 講師の牧野篤教授

を基盤とした『人づくり、つながりづくり、地域づくり』を目指すべき」と言いました。

社会教育がしっかりとしていると「目的」が生まれ、一般行政は社会教育の基盤の上で有効に機能します。

また、「地域コミュニティの『住民自治』がしっかりとしていることと教育行政の自立性を担うための住民のかかわりが必要である。

公民館を社会の中に埋め込み、一般行政を社会教育的に使いこなし、サービスの提供だけでなく住民ができることを支える。住民自身が他人ごとではなく自分ごととして活用することで施設も社会も『学び』で地域をつくり直す」など例を挙げて話しました。

① 地域が変わってきている中で、どう感じ、どう思っていますか。

- ・地域との関わりやコミュニケーションが薄くなってきたり、地域づくりは難しくなってきたり。
- ・公民館活動を次の世代にどのように伝えていくか。
- ・若い人がサークルに入っていない。
- ・未婚者が多く、少子化も進んでいて将来が心配。
- ・人と人とのつながりが希薄になってきている。
- ・団体や組織の役員のなり手がいない。
- ・地域活動への参加者は固定化していて新規者が入ってこない。
- ・若い人が参加できる魅力あるイベントが必要。
- ・各地域にある公民館や集会所をもっと解放してほしい。

② 自分達はどうしたいですか。何ができるでしょうか。

- ・挨拶は大事なので率先してするべきである。
- ・地域に目を向け、地域活動に子どもも大人も一緒に参加する。
- ・行政だけではなく、自分たちの手でなんとかしたい。(人任せにしない)

③ 公民館の役割にこれから期待することは何ですか。

- ・多世代交流の場として、子どもも大人も集まる場所にしたい。
- ・地域の文化をつなげてゆく。
- ・みどり市の公民館活動の一本化を望む。
- ・地域課題を吸い上げ、解決していく。
- ・様々な情報を積極的に発信してほしい。

また、自分が受けた生を次の世代につないでいくことが恩送りの基本であり、社会につなげていく。人間関係がしっかりとしていると活発な社会になっていく。」と講評して公民館大会を締めました。



▲ 分散会の様子 これからの公民館について話し合う

講演終了後は分散会が開催され、参加者は4グループに分かれて3つのテーマについて話し合い、以下のような発表がありました。

① 地域が変わってきている中で、どう感じ、どう思っていますか。

- ・地域との関わりやコミュニケーションが薄くなってきたり、地域づくりは難しくなってきたり。
- ・公民館活動を次の世代にどのように伝えていくか。
- ・若い人がサークルに入っていない。
- ・未婚者が多く、少子化も進んでいて将来が心配。
- ・人と人とのつながりが希薄になってきている。
- ・団体や組織の役員のなり手がいない。
- ・地域活動への参加者は固定化していて新規者が入ってこない。
- ・若い人が参加できる魅力あるイベントが必要。
- ・各地域にある公民館や集会所をもっと解放してほしい。

② 自分達はどうしたいですか。何ができるでしょうか。

- ・挨拶は大事なので率先してするべきである。
- ・地域に目を向け、地域活動に子どもも大人も一緒に参加する。
- ・行政だけではなく、自分たちの手でなんとかしたい。(人任せにしない)

③ 公民館の役割にこれから期待することは何ですか。

- ・多世代交流の場として、子どもも大人も集まる場所にしたい。
- ・地域の文化をつなげてゆく。
- ・みどり市の公民館活動の一本化を望む。
- ・地域課題を吸い上げ、解決していく。
- ・様々な情報を積極的に発信してほしい。

また、自分が受けた生を次の世代につないでいくことが恩送りの基本であり、社会につなげていく。人間関係がしっかりとしていると活発な社会になっていく。」と講評して公民館大会を締めました。

—お知らせ—

笠懸公民館
大掃除！

日時 6月9日(日)
9時30分～

❖ お願い ❖

- ・ 1団体から2～3名の参加をお願いします。
- ・ 雑巾やタオルを持参してください。



「もしも」を「うひも」に!!!

笠懸公民館主催「防災講座」

笠懸公民館は、2月16日(土)、同23日(土)の両日、最近の防災意識の高まりを受けて、防災講座を主催。防災士榎熊ツギ子さんを講師に迎え、住民レベルでの防災対策の見直しについて学習しました。

第1講では「災害に備えるべき準備と対応」をテーマに「今こそ見直そう! 防災対策」として、▼地震

直後の自助行動や、▼地震に対する備えを中心に学びました。

続く第2講では、「地域を見てみよう」と笠懸公民館を中心に、地域の防災に関連しそうな施設や事業所をピックアップ。それらを白地図に、マッピングしました。その後、道路の利用環境などを付け加え、地域特性を把握する演習を行いました。

・正しい情報、確かな行動
・確かめ合おう我が家の安全、隣の安全
・慌てない

等々、理解しやすい標語形式で被災直後の心得を指導しました。
また、地震等への災害の備えは、「もしも」ではなく「イツモ」が大切として、地震に対する備えについて指導しました。

第2講 地域を見てみよう

講座2日目は、防災・ステップ1として「防災環境」の把握を図上で演習。受講者は、グループに分かれ、この地域の防災環境の可視化を試みました。

この作業は、自宅が笠懸公民館付近にあるものと仮定し、笠懸公民館付近の白地図の上へ、公共施設や事業所などをマッピングしました。道路事情も記入して地域特性を「見える化」するものです。被災時の『避難ルートや燃料・水の確保等』どう考えるか?』が少し見えたとように思います。

講師は「災害は、来てからでは間に合わない。日頃からその時に備え、家庭や地域でこのような訓練を体験して欲しい」と指導。

更に、前後2回の防災講座を通じ、▼災害では、事前の防災訓練が生死に直結する事。▼地域の力が、弱者、高齢者を救う事。▼地域力の養成には、多様な事



▲ 講師の榎熊ツギ子先生

第1講 見直そう防災

講師は、地震発生時にとるべき10のポイントとして発生直後被災者が自ら対処しなければならない自助行動を中心に、
・ グラッと来たら身の安全
・ 素早い消火、火の始末

・ 家具の転倒や、荷物の落下防止に対処して置く
・ 火災対策や消火の備えをして置くこと良い。ちよつとした防災部品は、百均で揃えられる

等々、具体的にアドバイスをしました。その中で講師は、家族内の「防災会議」が、家族を助けると強調していました。



▲ 災害図上訓練(DIG) 自分のまちを再確認



前訓練が効果を発揮する事。▼避難者の半分は女性であり、女性の事情、細やかな気遣い等、避難生活には女性のリーダーも活躍する場面が多いこと等を強調していました。

おいしくできたね

笠懸公民館主催「手作りソーセージ教室」

笠懸公民館は、3月9日(土)料理実習室で「手作りソーセージ教室」を開催しました。

この教室には、学童・幼児を含む8家族25名が参加し、ウインナーソーセージ作りを楽しみました。

講師はアウトドア・ライフが趣味の後藤洋実さんと小堀一郎さん。

後藤さんは、友人とのキ



▲ 講師の後藤先生 腸詰めやり方を指導



▲ 自分で作ったソーセージ 美味しいー

工程の中、絞り袋と口金を用いてミンチ肉をケーシングへ詰めてゆく工程が一番難しく、上手に子どもへ指示をだすお父さん、ケーシングに集中し、黙々と作業をこなすお父さん、細かく注意するお母さん

この教室は『親子でソーセージ作り』をテーマに参加者を募集したため、若いパパが子どもたちを引き連れて参加した家族も何組もありました。お姉さんやお兄さんにくっついてきた幼児もいて、親子の微笑ましい風景が会場を包んでいました。

ソーセージを作る一連の

んなど家庭の風景が見えてきます。

苦労しながら絞り出し、ケーシングへ詰められた腸詰肉は30分燻煙された後、65℃前後で30分程度ポイルされ完成です。

講師は「ソーセージは、原則冷蔵庫保管。手作りソーセージは日持ちしないため早めに食べたほうがいい」と話していました。

できあがったソーセージを食べる子ども笑顔が、部屋中にあふれていました。おいしくできたね!?

鏡を購入しました

笠懸公民館は、3月14日(木)みどり市職員表彰で市長表彰を受賞しました。これは、昨年優良公民館として文部科学大臣表彰を受賞したことによるものです。

市長表彰の副賞の使い道について職員で話し合った結果、公民館活動に役立てることにしました。公民

館利用者から鏡の設置を要望する声が多いことから、移動式の鏡を2台購入し、寄付しました。活動で鏡が必要なときは職員にお声かけください。



▲ 購入した鏡

お知らせ



第117回いこいの広場

「アンデス音楽コンサート」

日時：5月19日(日) 午後1時30分～

会場：笠懸公民館 1F交流ロビー

出演：アンデス音楽を楽しむ会

多彩な作品展

ふるさとギャラリー

素敵なオンラインワン 合同展示会

笠懸公民館ふるさとギャラリーで2月17日(日)から24日(日)まで「あみあみクラブ & 絵手紙サークル」の展示会がありました。公民館で活動している2サークル合同の展示会は毎年恒例となってきました。

会場の半分はカラフルでおしゃれなセーターやベスト、かわいらしい編みぐる



▲手作りの絵手紙の展示



▲あみぐるみたちがお出迎え

みや手提げバッグなど約30点の作品がブティックさながら飾られていました。来場者は「これ、私の好みだわ」などと会話しながら見入っていました。絵手紙は、温かみのある絵に味のある言葉が添えられ額に納まっています。季節を感じ作者の気持ちがこもって心がほっこりしました。

書を極める

書道協会

2月5日(火)〜10日(日)まで6日間にわたり、笠懸公民館ふるさとギャラリーで「書道協会展示会」が開催されました。

楷書で一字一字丁寧に書かれたもの、力強く大きく大きな文字で書かれたもの、

木に刻字されたものなど33作品が展示され、来場者の目を楽かせていました。鑑賞していた方からは「これはすごいね」「わたしも書道やってみようかしら」「しばらく書道なんてしてないわね」などの声があり、みなさん作品を一つ一つじっくり眺めていました。なんとなく、心が落ち着きました。

かれんなカタクリの花

カタクリさくらまつり

日差しが柔らかくなり、春の訪れがしみじみ感じら



▲美しいカタクリ

れる頃になると、カタクリの花が咲き始めます。今年も恒例となった「カタクリ桜まつり」が3月23日(土)から31日(日)まで開催されました。

鹿の川沿の桜は、まだ二分咲き程度でしたが、薄紫色のカタクリの花は満開で訪れる人たちはカメラを向け楽しんでいました。

また、期間中は写真展、演奏会、露店などの様々な



▲じっくりと作品を鑑賞

イベントが行われ、今年も沢山の来場者で賑わっていました。



▲さまざまなイベントが開催 (写真：みどり市民吹奏楽団)

10年後も今のままで

笠懸公民館主催「らくらく脳トレ講座」

笠懸公民館主催事業「らくらく脳トレ講座」が3月6日(水)笠懸公民館交流ホールで開催されました。

講師は、(株)ジーシー スタッフの林千秋さんです。参加者は51名で70〜80代の方が多く見られました。

脳の働きや記憶、認知症予防のトレーニング「みつおか式脳若トレーニング」の体験をしました。

参加者はグループになってBB体操(脳と身体を同時に動かす)やコミュニケーションゲーム等にチャレンジ。また、老化による物忘れと認知症の違いなども楽しく学びました。

講師は、脳を若くするポイントとして「新しいチャレンジ」「人と会って話す」「たくさん笑う」の3つをあげ、「これから10年後の自分が、どうなっているか考えてください」と話しました。参加者の中には「で



▲ グループになって脳のトレーニング

きれば、「このままの姿で、10年後の自分に逢いたい」と話す人もいました。でも、「10年後には、きつといないよね」等の声があがり、会場は笑いに包まれていました。

いつまでも、元気でいたい。認知症にはなりたくない。そんなことを考えながら、皆楽しく脳の若返りにチャレンジしていました。

地域からのたより

自主防災会設立

五区

近年、地震をはじめ多くの災害が発生しています。このような有事に備えて、笠懸町第五区は、自主防災会を立ち上げました。会長

には区長が就き本年度から活動がスタートします。立ち上げまでには、発足準備会議を開催し組織の詳細について協議。市危機管理課の指導のもと自主防災会の概要を作成しました。その内容は、規約、組織図、活動計画及び役員名簿の作成に関するものでした。

区民の安全を第一に考え、もしもの時に備え、日頃から防災に関心を持ち意識を高めていくことは大切です。今後は防災訓練などが予定されています。

災害はいつ起こるかわかりません。災害に備え、地域の防災力を高め、地域が一体となっていくことが必要ですね。



市民の交流

レク大会

3月16日(土)、みどり市グリーンシアターで笠懸地区福祉部の主催する「レクリエーション大会」が開催されました。

今年で3回目となる大会で早朝より多くの市民がアリーナに集まり、軽スポーツを通じて家族や住民同士の交流を深めていました。親子で参加していた小学5

年生の女の子は「ビンゴボードゲームが難しかった。思い通りにボールが進まなかった」と悔しさをあらわに話していました。

また、競技に参加し、スタンプシートにスタンプがたまると景品交換所に駆けつけ、景品を片手に満面の笑みを浮かべている子ども達の姿も見受けられました。延べ360人あまりの市民が6種目(ビンゴボードゲーム、羽根つき、ターゲットホール、輪投げ、オールドホール、ラフゲッター)



▲ ねらったところにむかって

に挑戦し、会場内では子どもからお年寄りまで楽しんでいました。

お邪魔しま〜す♪

サークル

紹介⑳



今回お邪魔したのは、写真サークル「写学倶楽部」です。

部屋に入ると写真展の日取りを決めています。毎年、写真展のテーマを決めて展示するそうです。

代表：提橋 勲さん
連絡先：76-13547
会員数：9人
会費：3000円



▲ 力作が並ぶ

活動日：第4水曜日

19時から

話し合いの後はおみなさんの持ち寄った作品を鑑賞。すてきな写真に目がパチリ・・・♪

会員

募集中!!



投稿

テクテクお城歩き(1)

歩き人

近年、日本の城郭が脚光を浴びていますね。日本100名山に倣って、お城も日本100名城と名づけ、日本城郭協会は2006(平成18)年に協会創立40周年記念事業として「日本100名城」を膨大な数の城の中から選定したようので、選定委員は城郭に造詣深い人といえます。
選定基準として①優れた文化財・史跡であること②著名な歴史の舞台であること

笠懸短歌サークル 三月例会



吾が子とは呼ぶに戸惑ふ歳になる息子等は親父にわれは婆々におまかせとおねだり尽くしの民主主義行きつく先が想像できる
農業に未練をもちて今日もまた地下足袋はきて野良へと急ぐ
遠方から頼りて古き友また一人去る春を待たずに
結婚式が誕生日なる女の孫の晴れ姿幾枚 携帯に残す
春いまだ朝の予報を肯へずシャツ一枚を取りてまた置く
チクチクがシクシクになり今は痒し手術の傷の治療すすむらし

- 上村 征子
- 上山 利夫
- 橋内 文夫
- 久保田茂子
- 近藤ふさ子
- 関口 定夫
- 平山 勇

コラム豆電球



松・竹・梅がなぜ料理のランクなの？

もともと松竹梅は「歳寒の三友」ともいわれ古くからめでたいしるしとされてきた。松は冬青々としていることから不老長寿の象徴とされ、竹は冬でも緑を保ち、雪にも折れることがないので無事を表し、梅は雪の中でも美しい花をつけることから、勢いと美しさを表すものとされてきた。
このように松竹梅がめでたいものの代名詞となったのは、室町時代といわれている。しかし、

と③時代・地域の代表であること、としています。そして、城郭スタンプラリーが平成19年6月から始まりました。これが城ブームに拍車をかけたようです。私が本格的にお城探訪を始めたのが2014(平成26)

年からでまだ新参者で、城歩きの前は山歩きを趣味としていました。学術的なことは専門書に委ねることにして、歩きはじめましょう。



この時点で優劣はなかったようだ。

松竹梅が料理の特上・上・並を表すようになったのは江戸時代以降のことのようだ。

「ご存じのとおり、江戸っ子は見栄っ張りが多く、お金がなくても「並」とは言いたくなかった。そこで、「並」と言わなくても安い料理を選べるように、特上・上・並に松・竹・梅の三文字を割り振ったといわれている。松が特上の理由は、単に松竹梅という語呂ごおりに当てたからだろうか。
しかしながら、もし、松竹梅が梅竹松だったら梅が特上になっていたらかな？

こえの ひろば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

四季の会 三月句会



愛犬も時に反抗春の雨
 入学の制服なをす針の技
 食品の値上げの春か妻の声
 春なのに独りの昼餉夫は逝き
 桜餅客の手作り有り難たき
 「もふなれた」浄土の暮し菜花咲く
 猫部屋に古雛飾り客となり
 応募の切手を舐めて涅槃西風
 復興の八年が過ぐ春の海
 牛乳も塩も値上げか雛祭
 カラオケの順番まつや花見鳥
 うぐひすの鳴き声うまくなりけり
 庭石の肩にふるるや垂れ梅
 春風や自転車こぐ娘女学生
 ひしひしと老ゆる感あり涅槃西風
 卓袱台を囲みし家族夕霞
 妻の留守ひるげも取らず涅槃西風
 厨より春満月と語りをり
 屋敷を囲む小沼に棲みし田螺かな
 堅杵子や幼き日日の母恋し
 強がつて生きる八十路や春の川

佐藤 小春
 東宮 春水
 川岸 星漢
 津久井友禪
 越塚 勝鬼
 多田冬薔薇
 小林 華笑
 韓 百日紅
 吉田 和義
 裙沢 春蘭
 久保 初風
 森田千代子
 今井 稔
 糸井 初音
 徳田 夕子
 須田 仙寿
 小此木和音
 横倉 雅
 塩谷 楓
 村田 小町
 富田 和

愛犬に白酒のまれ千鳥足
 年齢を聞かれ出て来ぬ老ひの春
 十連休家族会議や夕霞
 「先生」を歌ひつ辞する春舞台
 風吹くな暫く桜そのままに
 春眠や今日の命に感謝せり
 こんなこと昔は出来た涅槃西風
 花冷えや社で集ふ飲み仲間
 子育ても遙か昔や涅槃の日
 母ありてこそこの故郷かたくり花
 長年の作詞をまとめ彼岸入り
 山の辺の木木の芽吹きや子らの声
 鴉にも彼岸だんごを食はせをり
 足腰をなだめし登る春の寺
 参道を染めて行くなり八重桜
 認知テスト更新終へて東風吹けり
 スタート切る八十路と令和共に春
 待合を桜が覗けば大欠伸
 柱傷五センチ上の新学期
 ワンコインレンタサイクル風光る
 春の空ははの入所を兄に聞く
 琴の音と都をどりや夜の宴
 句碑公園はなよりだんご花見酒
 花冷えや苔のままに友逝けり
 影ふたつこけて今宵は花の宿
 おぼろ夜の気になる会話ふと耳に
 新曲の収録終へし春の月
 古ひひな賑ふ伽藍かぞく連れ
 夜桜やまはり湖の匂かな
 春雨や深川飯を食す旅

村田 紅蘭
 遠藤 勝龍
 新羅 光海
 金井 漢江
 大竹 夢香
 真下 山月
 神部 薫
 童 鳥海
 金井 光順
 太田 ハナ
 富士山鬼翔
 金井 青松
 糸井 梅光
 田屋 夕風
 霜中 降鬼
 松鼻 風月
 橋本 水月
 山口 紅月
 斎藤 三球
 宇野 椿
 宇田 梅月
 島津 春雅
 田中 武一
 中村 六
 松宮 鬼風
 宇野由希子
 冠 二郎
 石原 条
 宇野 勘大
 金 光月

ちよこし息



先日、中学校の同窓会があった。案内状には「還暦同窓会ファイナル」と書かれていた。同窓会は最後だという。普通なら定年になり時間が自由になるこれから同窓会やクラス会が多くなるのでは・・・。

中学生以来会ったことのない同級生もいて、名札がなかったらわからない人もいた。校歌を歌い、その時代のアルバムを開いているようなスライドショーが流れ、一気にタイムスリップし、会話が弾んだ。

すこく盛り上がりつつ「また同窓会したいよね〜」みたいな雰囲気だった。最後は尾崎紀世彦の「また逢う日まで」♪が流れ、名残惜しくお開きになった。

二次会も三次会も最後にカラオケで「また逢う日まで」を歌った。その一か月後「同窓会お疲れ会」があった。

いいよね〜同級生って。